

令和元年度

学校だよりR元. 11. 25



# かわさき

回覧板  
第2号

川崎小学校  
文責 校長

## 地域の「歴史・文化」を「知る・体験する」学習

本校では、創立当初から川崎地区の歴史や文化を学ぶ機会を設けてきました。記録をさかのぼると、初めは前三島神社宮司 安在政隆様を講師にお迎えし、高学年児童が教えていただいたようです。そして、5年程前からは、市文化財保護審議会委員の佐藤克男様にご指導をいただいております。本年度も6年生が、年間合計11時間にわたり、社会科の歴史学習と関連させ、川崎地区や二本松市の歴史や文化について学んでいます。教室でお話をお聞きするだけでなく、ときにはバスに乗って、大壇口の古戦場跡や霞ヶ城・大隣寺などの史跡を実際に見学しながら学習しています。



11/7 和紙漉きと養蚕の歴史を知る授業



また、5年生は総合学習で伝統の上川崎和紙について調べる学習に取り組んでいます。その一環として、先日、道の駅の「和紙伝承館」で、紙漉き体験を行いました。漉いた紙は、葉書サイズです。すのこを敷いた漉き桁で3回、どろどろの繊維をすくいます。途中で紅葉の葉などを挟み込み、各自、オリジナル葉書に仕上げました。最後に、和紙伝承館裏にある楮（こうぞ）畑を見学しました。そこには楮の木だけでなく、和紙漉きには欠かせない「とろろあおい」も栽培されており、昔ながらの伝統を守る努力をしていることが分かりました。



次年度からは、本地域の伝統である「和紙」に関する学習を各学年で、それぞれの発達段階に応じて行うように計画を進めています。

# 「家庭の日」作文発表

市青少年健全  
育成推進大会

去る11月9日（土）、安達文化ホールにおいて令和元年度二本松市青少年健全育成推進大会が開催されました。青少年が心身ともに健やかに成長することを願って毎年開かれている大会です。この大会の席上、市内全小学校から応募のあった「家庭の日」作文から選ばれた2作品の発表が行われました。その2作品のうち、1つは本校の6年生の作品でした。「家族が共に過ごす楽しい時間をもっと増やしたい」という願いを素直に表現した作品です。この作品を書いた6年 野地 優花さんはしっかりした声で上手に作文を発表することができました。その作文を紹介します。

\*\*\*\*\*

## わたしの家族

川崎小学校6年 野地 優花

わたしの家族は6人で、同じ家に住んでいます。祖父、祖母、父、母、弟、そしてわたしです。祖父と祖母は農業をしていて、家で食べる野菜のほとんどを作っています。農業の忙しい時期は、朝から晩まで忙しそうに畑や田んぼに出かけていきます。父は、鉄工所で働いており、主に溶接の仕事をしています。土曜日も朝から仕事に行き、残業の日もあるのでとても大変そうです。母は専業主婦です。毎日家族の食事を作ってくれたり、わたしや弟のためにたくさんの家事の合間をぬって話をきいてくれたりします。弟はまだ4才で、やんちゃざかりです。トミカのミニカーが大好きで、わたしもいっしょに遊んでいます。おままごとも好きで、お父さん役がお気に入りです。このような家族ですが、みんながそろって何かをするという機会がなかなかありません。

でも年に1回、お盆のときに必ず行う家族行事があります。それは家の庭で行うバーベキューです。いつもは家族それぞれに生活していますが、その日はみんなで準備をしてバーベキューをするのです。わたしは毎年その日をとても楽しみにしています。

まず、父が火をおこして焼く作業を担当します。そして母と祖母は、野菜を切ったり、おにぎりをにぎったりします。祖父はテーブルやいすを出し、わたしはその手伝いをします。弟はムードメーカーで、遊びながらその場を盛り上げます。このように家族全員で仕事を分担し、協力して準備をするのです。バーベキューを食べる楽しみもありますが、この準備をしているときの家族との会話や笑顔が、何より

もわたしはうれしく感じます。ふだんよりも会話はずみ、笑顔も多くなる気がします。この時間がもっともっと続けばいいなあと、毎年思います。家族っていいな、あったかいなと思う時間です。

このような特別なことでなくても、少しでも家族といっしょの時間を取るにはどうしたらよいのだろうかと考えてみました。

一つ目は、野菜やお米の収かくの手伝いをする事です。家では様々な種類の野菜を育てていますが、いつも祖父と祖母だけで行っているの、休みの日に家族みんなで手伝いたいと思ったからです。そうすることで、祖父たちもきっと楽になると思います。

二つ目は、家の掃除です。今はそれぞれの部屋を各自で行っていますが、年に何度かでも今日は一階、今日は物置など、場所を決めて掃除をするのはどうかと思いました。そうすれば、これらの2つを行うことで家族で協力し合う行事が増えると思うからです。

このようにして家族全員と過ごす時間を増やし、コミュニケーションをとることで、さらに絆を深めることができると思います。このことを家族と話し合い、ふれ合う時間を増やしていきたいと思います。



作文を発表する野地さん